

## 平成25年度第3回瑞浪市地域公共交通会議 会議録

会議の日時	平成25年12月18日（水）午後1時30分
会議の場所	瑞浪市役所4階全員協議会室
出席者	委員 磯部友彦（中部大学） 加藤宏幸（多治見砂防国道事務所：福沢昇 代理） 加納正男（多治見警察署） 小椋昭司（多治見土木事務所） 山田芳喜（岐阜県バス協会） 若尾和之（東濃鉄道：門間實 代理） 林 世紀（平和コーポレーション：山田和洋 代理） 橋本 清（平和コーポレーション） 三輪勝彦（大湫町コミュニティ推進協議会） 大山理晴（瑞浪市連合自治会） 石井一広（瑞浪市PTA連合会） 西脇弘司（東濃厚生病院） 勝 康弘（瑞浪市副市長） 可知勝宏（瑞浪市教育委員会事務局長） 遠藤三知郎（瑞浪市経済環境部長） 木村伸哉（瑞浪市建設水道部土木課長） 事務局 成瀬 篤（瑞浪市商工課長）、鈴木創造、吉田和史
欠席者	委員 木村治史（岐阜運輸支局） 松田 勲（県公共交通課） 伊藤明芳（瑞浪市市民福祉部長）

### 1. 開会

#### 事務局（商工課長）

お時間が参りましたので、これより、平成25年度第3回瑞浪市地域公共交通会議を始めさせていただきます。本日の司会・進行を務めさせていただきます商工課長の成瀬でございます。宜しく願い申し上げます。最初に、本日の資料の確認をさせていただきます。皆さまには、事前に会議資料をお送りしておりますが、本日ご持参頂きましたでしょうか。

ご持参頂いた資料の他に、皆さまの机に「平成25年度第3回瑞浪市地域公共交通会議」と書かれたレジュメ、右上に資料2、同じく資料3と書かれたもの、そして、出席者名簿と席表が両面刷りになっているものの4種類が置かれているかと思えます。誠に申し訳ございませんが、このレジュメ、資料2、資料3の差し替えをお願いします。

よろしかったでしょうか。改めて、資料の確認をさせていただきます。まず、最初に「平成25年度第3回瑞浪市地域公共交通会議」と書かれている本会議のレジュメ、次に資料1～5番、そして、本会議の出席者名簿と席表が両面刷りになったものとなっております。不足資料はございませんでしょうか。それでは進めさせていただきます。

## 2. 会長あいさつ

### 事務局

まず、当会議を主催します勝会長からご挨拶を申し上げます。

### 会長（副市長）

みなさんこんにちは。本日は、大変お忙しい中、平成25年度 第3回瑞浪市地域公共交通会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日で3回目を迎えますが、この地域公共交通会議は、市民の生活に必要な交通手段の確保、利便性の向上を図るための協議を行うとともに、地域公共交通総合連携計画の策定等を行うこととしています。

本日は、第2回の会議で、瑞浪市地域公共交通総合連携計画策定業務に係る委託事業者の選定をしていただき、事業者とともに、各種アンケート調査実施などの業務を進めてまいりましたので、その調査結果などにに基づき、連携計画の策定方針等について、ご協議いただきたいと考えています。

また、国の補助金が増額されましたことに伴い、補正予算についてもご協議いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

なお、本会議の議長は、設置要綱第6条第1項の規定により、会長が指名する者が議長となるとされておりますので、本日の会議の議長に副会長であります中部大学教授の磯部委員にお願いしたいと思います。委員の皆さんには、慎重なる審議をよろしくお願いいたします。挨拶とします。

### 事務局

ありがとうございました。それでは、当会議の成立についてご報告申し上げます。出席者名簿をご覧ください。2番 国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局木村様、4番 岐阜県都市建築部公共交通松田様、16番 瑞浪市市民福祉部長伊藤様はご欠席の連絡をいただいております。また、3番の多治見砂防国道事務所 福沢様は、代理出席と言うことで、道路管理係長の加藤様に、同じく8番の東濃鉄道(株)門間様は、乗合営業部長の若尾様に、9番の平和コーポレーション(株)山田様の代理出席で、部長の林様にご出席いただいております。

本日、委任状も含め、委員19名中過半数のご出席がありましたので、要綱第6条第2項の規定により、当交通会議が成立しましたことを報告させていただきます。

また、当交通会議は、要綱第6条第6項の規定により、原則公開となっておりますので、ご承知をお願いします。

なお、本日の交通会議の議事録署名を、大湫町コミュニティ推進協議会の三輪勝彦様にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、協議事項に入りたいと思います。ここからは、先程勝会長より議長の指名のありました、中部大学の磯部先生にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 議長（磯部先生）

ご指名いただきましたので、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは議題に入らせていただきます。前回の会議が7月ですので、かなり時間が経っています。せっかく会議録を作っていただいておりますので、簡単に前回のおさらいをしたいと思います。事務局、資料1の説明をお願いします。

### 事務局

（資料1に基づき説明）

### 3. 協議事項

#### (1) 平成25年度補正予算について

議長（磯部先生）

では、議題に入ります。議題1 平成25年度補正予算について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料2、資料3に基づき説明）

議長（磯部先生）

ただいま、事務局より、議題1について説明がありましたが、この説明について、ご意見、ご質問はございませんか。

議長（磯部先生）

それでは御諮りします。議題1 平成25年度補正予算について、原案のとおりご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

委員

異議なし。

議長（磯部先生）

異議なしと認めます。議題1については、原案のとおり承認されました。

#### (2) 瑞浪市地域公共交通総合連携計画の策定方針について

議長（磯部先生）

続きまして、議題2 瑞浪市地域公共交通総合連携計画の策定方針について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料4、資料5に基づき説明）

議長（磯部先生）

ただいま、事務局より、議題2について説明がありました。連携計画の策定方針についてということで皆さまの意見をいただけたらと思いますが、どなたかいかがでしょうか。

岐阜県バス協会（山田専務理事）

資料4の12ページの瑞浪市コミュニティバス利用者数の推移で、5年前と比べると減っているということですが、路線により増えているバス路線と減っているバス路線があります。増えている路線はどうして増えたかという分析も必要ではないか。全体で見れば日吉線が5年間で1万1千人程減っていますが、日吉線を除くと恐らくプラスになるのではないか。なぜ日吉線がこれほど減っているのかを分析して役立てた方が良いのではないか。

それと、運行収支状況で多少悪くなっていますが、基本的にコミュニティバスは民間路線バスが廃止されたため、予算化して運行しています。民間線バスの運賃はコミュニティバスより高く運行していますが、コミュニティバスの運賃は100円のため、収支率が悪いのは当然で、そのために今回アンケートやヒアリングを行っていると思います。アンケートの結果では「廃止」と

いう回答がないことから、収支率だけにこだわる必要はないと思っています。

20ページのバス車両などの利用環境で、コミュニティバスのバリアフリー対応が遅れているため、出来るだけバリアフリー対応車の導入をお願いしたい。

それから、39ページの路線別日利用者数及び1便平均利用者数で、学生の数もあると思いますが、1便平均10人を超えておりそれなりに乗っていると思います。文書の中に利用が全くないダイヤも存在していると書いていますが、今回のアンケートなどを踏まえるなどして、もっとうまく工夫してダイヤの見直しなどをコストの削減を図れば、もっと収支率が良くなると思っています。

それから、学園台シャトルバスについては良い方法だと思いますが、運賃などが示されていないため、今後公共交通会議の中で続けていく方向なのか、これを元に続けていくのか教えていただきたい。

それから、中学校統合に係る通学手段の検討で、文科省の補助を適用すると車両を購入できますが、もし購入する場合は安全の担保というのをしっかりやっていただきたい。市で車両を購入し、事業者へ委託する場合は青ナンバーにしていいただきたいと思っています。

## 事務局

まず、20ページのバリアフリー対応についてですが、瑞浪市特有の地域特性として、日吉地区や、釜戸地区ではコミュニティバスで小中学生が通学している状況です。山間地のため、どうしてもバリアフリーの対応車は高低差の関係や、道幅の関係で通行できない箇所も多くございます。現状では、20ページの一番右の写真にありますバスで運行している状況でございますが、可能な路線はバリアフリー対応ができればと考えております。

それと、学園台シャトルバスの位置づけですが、主に学園台地区の方が利用されているバスということでございますが、そこに行かれる方については料金を払っていただければ乗れるバスと聞いております。料金については、ここには資料がないためまた後でご報告できればと思います。位置付けとしましては、地区で市民の方、地域の方が利用できる交通手段としては、この公共交通の中に一括で捉えていきたいと思っています。他に大湫地区ではデマンドバスを運行していますが、こういったものを各地区が考えられるということについてもそれは大きな中での公共交通と捉えたいと考えておまして、このシャトルバスについても計画の中に一緒に考えていきたいと思っています。

スクールバスの補助金については事務局でよく調べさせていただいて対応したいと思っていますのでよろしくお願いします。

それと、日吉線の減少に関してですが、現在、小中学生が主な利用者であり、利用者の半分位を占めています。ほぼ毎日利用するということですので、子供の減少に伴って減少しているものであるとこちらでは考えております。

## 議長（磯部先生）

若干伸びているということも子供の増減が影響しているということですか。

## 事務局

大湫地区では小中学の人口が増えたという話しも聞いており、コミュニティバス利用者数の増減は小中学生が利用する路線が影響しているものと考えております。

## 議長（磯部先生）

よろしいでしょうか。他に質問がある方はいますか。

## 岐阜県バス協会（山田専務理事）

デマンドを導入するという位置づけがありますが、デマンドにも色々な方式があります。この地域には路線バスやタクシー事業者もあるため、デマンドのやり方によっては、非常にタクシー事業者に影響がでる場合もあります。場所によっては路線バスが運行している地区であれば路線

バスに影響がでてくると思います。良い方法と思いますが、デマンドを行う場合には、全体的な公共交通機関に影響を少なくし、路線バス、コミュニティバス、タクシーがうまく機能するような制度にしていきたいと思っております。

それから、先ほど小学生などの話しになりましたが、全体的に見ますとこのコミュニティバスは通学スクールという意味よりも、高齢者などが買い物に行く人については全然入れてないよということになるわけです。それは単純に、利用者数が減少しているという単純な総括では少しおかしいのではないかと。やはり毎年公共交通会議に議題をかけて見直した結果、ここ最近2、3年は増えていると思います。何のための公共交通会議ということになるため、しっかりと総括して頂きたい。

#### 議長（磯部先生）

ありがとうございます。瑞浪市の地域特性や、小中学生の送迎と一般市民の送迎を両方行っているのが瑞浪市のコミュニティバスの特徴のため、路線上の性格をしっかりと把握しながら、その特徴を活かした分析が必要です。

それから、タクシー会社ですが、54ページに各種交通手段の機能分担の中で、デマンドはありますが、タクシーについて書いていないため、どのように考えているのでしょうか。

#### 平和コーポレーション株式会社（林部長）

基本的に大手のタクシー事業者は、朝の7～9時頃に利用が集中しているため、この時間のデマンド運行については非常に車両の確保が難しいと思います。病院への通院はタクシーか、コミュニティバスで行かれるが、人の動く時間はほとんど変わらない時間に動かれます。10時か11時を過ぎると、タクシーは暇な時間で、夕方の16時位までが一番動かない時間帯です。この時間帯であれば、車両の有効利用で運行はできなくはないと思います。どうしても通勤が一番集中する時間で、タクシーに変わるものがあると売上が減ってしまうという現象が起きると思います。

#### 議長（磯部先生）

54ページの幹線公共交通、地域間公共交通、支線公共交通という分け方を見た時に、タクシーというのはどの辺りでしょうか。また違うものなのではないでしょうか。

#### 平和コーポレーション株式会社（林部長）

機能分類の中に入れるとしたら地域間公共交通に入るのではないかと思います。

#### 議長（磯部先生）

地域間公共交通と支線公共交通が跨るところと思いますが、私が言いたかったのは、タクシーを含めて検討して欲しいと思います。タクシーについては再度位置づけ等について検討して頂きたいと思います。

#### 平和コーポレーション株式会社（林部長）

デマンド＝タクシーという感覚はあります。

#### 議長（磯部先生）

他はいかがでしょうか。学園台シャトルバスは会員に限定されているため、公共交通と言えるかどうか位置づけが難しいと思っています。しかし、誰もが運賃を払えば乗れるということであれば、事業者の関係なしに公共交通かなと微妙な感覚があります。会員に限定されているものなのか、誰もが乗れるという公共交通の性格に馴染んでいくのか。似たようなものですと、企業の送迎バスや大学の送迎バスはあり、難しいところもあります。

#### 会長（瑞浪市副市長）

デマンド交通は地域の宝というところもありますので、公共交通の定義として本当に難しくな

ってくると思います。地域の方しか利用できないのは、公共交通に入らないという議論になってしまうため、ある程度、地域が活用できれば公共交通になるのではないかと思います。

**議長（磯部先生）**

料金については協議運賃という言い方もあり、地域公共交通会議で諮って決めることになるため、この会議で対象にするのかしないのか。

**岐阜県バス協会（山田専務理事）**

色々なものがあって良いと思います。学園台シャトルバスの運賃については記載がありませんが、どのように決めたのでしょうか。

**事務局**

学園台シャトルバスの運賃は、1世帯1000円で、通勤や通学など目的に応じて値段の体系があります。例えば通学の場合、世帯の均等割りの1000円に1600円を足すとか、通勤の場合、1000円に4000円を足すとかというのが月額運賃ということになっております。

**議長（磯部先生）**

今の話を聞くと、地域公共交通会議で対象にすること自体がどうかという問題があります。

**岐阜県バス協会（山田専務理事）**

ここに載せているのだから、どういう位置づけで載せているのかなと思っただけです。

**会長（瑞浪市副市長）**

このようなバスも運行しているということであれば良いが、学園台シャトルバスを地域公共交通の方針に入れること自体に問題があるのではないか。学園台と駅を結んでいるだけで、普通の人は利用できないと思います。自治会で運行しているだけのため、地域公共交通の中に入れるのは相応しくないと思います。

**平和コーポレーション株式会社（林部長）**

以前に路線バス化して欲しいという要望があったと思います。

**会長（瑞浪市副市長）**

学園台シャトルバスについては、正確に確認した上で、載せた方が良いのではないか。

**岐阜県バス協会（山田専務理事）**

載せても良いと思いますが、参考になるのではないか。

**議長（磯部先生）**

方向性としてはこれも一つの解決策と思います。要するに市が全部税金で注ぎ込んでいるものと、地域の方が自らの足の確保は自分で行うという方向性もあるため、地域公共交通会議としての対応の仕方ですね。

**会長（瑞浪市副市長）**

地域公共交通会議に諮る場合、交通事業者との調整等の問題もあり、それ自体が成り立たなくなる可能性があるため、地域公共交通会議での協議事項の対象にならないという可能性もあると思います。

**議長（磯部先生）**

他はいかがでしょうか。先程中学校の統合に伴う車両の問題もありました。

**会長（瑞浪市副市長）**

車の問題はご要望としてお聴きします。

**岐阜県バス協会（山田専務理事）**

乗務員の人が安全確保だけしっかりして頂きたい。

**会長（瑞浪市副市長）**

そのように考えています。

**議長（磯部先生）**

特に基本方針のあり方が一番大事と思っていますが、他にいかがでしょうか。

**会長（瑞浪市副市長）**

以前から3つの基本方針については考えられていたため、これから先のサービス基準の検討やコミュニティバスの再編成計画、地域協働事業が大事になってくるのではないかと。

**岐阜県バス協会（山田専務理事）**

今回の課題に基づいて、今後コミュニティバスのダイヤの見直しや、スケジュール等を出していく考えで良いのですか。

**事務局**

その通りです。

**岐阜県バス協会（山田専務理事）**

その目標は、短期、中期、長期ということで、何年後に実施するとかというスケジュールが今後出てくると解釈していいですか。実証運行を実施する場合、いつ誰がするのかとか色々なことがでてくると思います。短期、中期、長期で行う事業について、スケジュールを作成するなど何か見せないと計画だけ作ってそれだけって言う話しになってしまうのではないかと。

**議長（磯部先生）**

中学校の統合もありますが、いつ頃にネットワークが完成する予定ですか。

**事務局**

平成28年の4月には南部の中学校が統合し、スクールバスで対応していくということになります。そこでスクールバスとの関わり方ですが、大きく変わる可能性があるため、今回のコミュニティバスの契約につきましては平成27年の9月末までで契約しています。平成27年の10月からはある程度ダイヤに反映していくということになると思います。緊急なものについては随時対応するということになると思いますが、そこは一つのステップになるかと考えております。

**会長（瑞浪市副市長）**

2ページの策定フローで、今回5章の地域公共交通の構築に係る基本方針や目標の検討という段階で、今後はサービス基準やコミュニティバス再編成計画、地域協働事業について検討し、さらに6章の取組むべき施策や実施スケジュールで検討するということになるのではないかと。

**事務局**

将来的な見通しについてもスケジュールの中に踏み込んだ上で、連携計画を策定することになると思います。

### 大湫町コミュニティ推進協議会（三輪勝彦）

区長会へのヒアリングやアンケート等を踏まえ、コミュニティバスの料金ですが、大湫地区や日吉地区は市街地と比べて100円でなく高くなっており、路線により料金が違うのではおかしいのではないかという意見がありました。例えば、市街地の方を若干上げて頂くとか同じようにならないかと思っています。直ぐには難しいと思うので、将来的に色々検討して行く中で配慮していただきたい。

### 会長（瑞浪市副市長）

エリア料金制でエリアを跨ぐと加算する仕組みのため、エリアの中で利用する場合は同じですが、その辺の問題があるのではないかという意見をいただいているので検討していただきたい。

### 議長（磯部先生）

一般的に民間路線バスの運賃は、掛かった経費に対して料金を頂く運賃体系で、長く利用すれば料金を加算していくというのが路線バスの料金体系です。一方で、コミュニティバスは行政負担で運行しているため、運賃についても地域で考えるしかありません。

### 瑞浪市PTA連合会（石井一広）

平成28年に南部の中学校が統合されますが、陶地区住民の意見としては中学校がない地域には人が住まないのではないかという意見が大半です。ただ、実際にお子さんがいる方々で一番気にしているのは、交通の便です。この地区には中学校がない地区になってしまったけど、交通の便が非常に良いということであれば、人口の流出も抑えられ、出ていってしまった方々も戻ってくるのではという期待もあります。商業施設や学校が遠くても交通の便が非常に充実しているということを市としてアピールできるように予算を沢山確保して頂きたい。瑞浪市の中心市街地は充実していますが、それ以外は軽視されているため、考慮して考えて頂きたいと思います。

### 議長（磯部先生）

お客さんが減ってくるとサービスを悪くしていくというそういう流れがずっと続いているが、そういうわけではないのですね。他はいかがでしょうか。

### 平和コーポレーション株式会社（バス乗務員労働組合代表者 橋本）

平成28年の4月の統合時に、陶地区の中学生は74名という予測をされています。スクールバスは登校時と下校時に1回とありますが、74名ということはバス2台ということでしょうか。

### 会長（瑞浪市副市長）

2台必要であると考えていただければと思います。

### 議長（磯部先生）

スクールバスの車両は1日中存在しますが、動いている時と動いていない時があります。動いていない時があると勿体ないと思うため、その辺の考え方だと思います。他はいかがでしょうか。なければ、今色々意見がでたのでそれを踏まえて基本方針などを作り上げていくという形になっていきます。

### 事務局（コンサルタント）

事務局として確認をさせていただきます。54ページの機能分類で、幹線、地域間、支線と分けています。この発想は、幹線は鉄道や路線バスが、地域間のコミュニティバスは行政が中心に最低限市民の方が一定程度の移動ができるようにするという意味です。朝夕の子供のスクール対応と、昼間の最低限の往復1便程度は買い物や通院に出かけられるという意味を含んでいます。支線については、地域の方々のきめ細かいところまで対応できるよう、地元の方の合意で運行し、それに対しては市が補助をするという思想が入っております。そういう意味で支線公共交通は地

元の方が中心となって検討して頂き、検討の結果をこの地域公共交通会議でコミュニティバスとの整合や接続との関係、さらには学園台シャトルバスが会議での対象になるのか、ならないのかということも含めた発想があります。今後のその具体的に展開していく考え方の前提になりますので、そういうことでよろしいかどうか確認をお願いしたい。

#### 議長（磯部先生）

恐らく地域公共交通の活性化及び再生に関する法律と道路運送法という2つの法律があるため、二枚舌の会議なんていうところがあるのかなと思っております。実は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律は、連携計画を作成するということですが、運賃については地域公共交通会議の中での承認事項となります。本来は別の性格をもった会議だということと考えていくと、連携計画は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の観点であらゆる交通手段を位置付けるという意味合いです。一方で、個別の交通機関の審査というのは地域公共交通会議となります。会員制のシャトルバスについては、地域公共会議の中では枠外という性格ではないかと思っております。

#### 会長（瑞浪市副市長）

支線公共交通について、実際には行政が支援しない地域を地域でカバーしてもらうという考え方ができればいいのですが、それが良いのか悪いかわからない。

#### 議長（磯部先生）

これも一つの考え方だろうと思います。ただ、色々な交通があって良いと思いますので、正に地域の方の努力を否定することになります。むしろ他の自治体でそのように取組みたいという意見もあります。地域公共交通会議と連携計画は切り分けないといけないと思いますので、どういう書き方がいいのか中部運輸局と相談して下さい。

#### 岐阜県バス協会（山田専務理事）

一つの交通手段として地域住民が主体となっているというのは、すごく良い例だと思います。

#### 議長（磯部先生）

他にはいかがでしょうか。良ければこういう方向で作業を進めさせていただきます。基本方針としてこの3つが大きな方向性ですが、宜しいでしょうか。宜しければこれで会議を終わりにさせていただきますと思います。

#### 多治見警察署（加納交通第一課長）

54ページのタクシーのこととか、学園台のシャトルバスなどそういった細かいところは3つに組み込んでいくということでしょうか。

#### 議長（磯部先生）

タクシーも組み込んでいくということで行っていきます。それではこういう方向で進めさせていただきます。あとはご意見等よろしかったでしょうか。

#### 多治見警察署（加納交通第一課長）

本連携計画は今年度末までに策定する予定ですか。また、基本構想が策定中ですが、この計画期間の最終年度はいつを予定していますか。

#### 事務局

本連携計画は平成25年度中に策定します。基本構想については現在策定中のため、反映できる部分は反映していきたいと考えています。また、計画期間は、具体的な施策は5年間とし、中長期的な部分も盛り込むことで考えています。

#### 議長（磯部先生）

本議題については、検討ということで進めさせていただきましたので、議決という形はとりません。事務局には、本日の検討内容を基に、今後の計画策定に反映させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。それでは、協議事項は以上となりますので、これにて議長を降りさせていただきます。皆様には慎重審議をしていただきまして、ありがとうございました。事務局に進行をお返しします。

#### 4. その他

##### 司会（商工課長）

磯部先生ありがとうございました。それでは、次に「その他」とありますが、今後のスケジュールにつきまして、担当より説明させていただきます。

##### 事務局

本日ご協議して頂きました内容を反映させまして、方向性がまとまった段階で幹事会にお諮りしたいと考えています。その後、グループインタビュー調査等踏まえ、連携計画（案）の内容について次回の地域公共交通会議でご協議して頂きたいと考えており、2月下旬に開催する予定です。

##### 司会（商工課長）

今後のスケジュールとして、幹事会を開催し、基本方針及び路線案についてご協議して頂き、その後、グループインタビューやヒアリングを行い、連携計画（案）を作成するようスケジュールを組んでいきたいと考えていますが、よろしかったでしょうか。

#### 5. 閉会

それでは、長時間にわたり慎重審議をしていただきまして、ありがとうございました。これをもちまして、平成25年度第3回瑞浪市地域公共交通会議を終了させていただきます。

（午後3時10分閉会）

平成26年1月9日

議事録署名者 三輪勝彦